

第18回玄海地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日 時

平成30年11月29日（木） 11:00～12:00

2. 場 所

テレビ会議

3. 出席者

国 : 内閣府、原子力規制庁、九州経済産業局、海上保安庁

関係自治体等 : 佐賀県、長崎県、福岡県

オブザーバー : 玄海町、唐津市、伊万里市 （以上、佐賀県）

松浦市、佐世保市、平戸市、壱岐市 （以上、長崎県）

糸島市（以上、福岡県）

九州電力株式会社

4. 議 題

(1) 「玄海地域の緊急時対応」の改定について

(2) その他

5. 概 要

(1) 「玄海地域の緊急時対応」の改定について

内閣府から、玄海地域の緊急時対応の主な改定項目について、以下のとおり説明を行った。

○バス避難時における避難誘導の円滑化

PAZの施設敷地緊急事態におけるバス順路の明確化について

○国の要員・資機材等の緊急搬送先の多重化

緊急輸送経路の多重化（昨年9月に実施した原子力総合防災訓練において実施した福岡空港の利用及び長崎空港の利用）について

○避難状況の把握・渋滞緩和対策

ヘリテレ伝送システムを用いた災害情報の収集及び渋滞緩和対策の実施
について

○複合災害（地震等）により屋内退避が困難となる場合の対応

複合災害時において、自然災害による差し迫った危険がある場合に、生命
の安全確保を優先することの明確化について

○観光客等一時滞在者への対応

観光客等一時滞在者への情報伝達体制等の整理について

○安定ヨウ素剤の配備等の充実化

乳幼児向けゼリー状安定ヨウ素剤の備蓄及び配布並びに国による安定ヨ
ウ素剤の備蓄について

○原子力災害時における医療体制の連携・強化

原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関の指定による原子力災害時
における医療体制の連携・強化について

○1号機における原子力災害対策重点区域の設定

冷却告示を受け概ね 5km 圏内が UPZ となることに伴う具体的な対応につ
いて

(2) その他

特になし

以 上